



2022年8月5日

各 位

会社名 株式会社 は せ が わ
 代表者の 代表取締役社長 新貝 三四郎
 役職氏名
 (コード番号 8230 東証スタンダード・福証)
 問合せ先 経営企画部長 吉安 大輔
 T E L 03-6801-1074

2023年3月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正と
 中間・期末配当予想の修正に関するお知らせ

2022年5月16日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想と中間・期末の配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間業績予想の修正

(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,500	650	600	300	16円49銭
今回修正予想 (B)	11,400	1,200	1,200	850	46円74銭
増減額 (B-A)	900	550	600	550	-
増減率 (%)	8.6	84.6	100.0	183.3	-
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期第 2四半期 (累計))	10,179	738	727	444	24円49銭

※2022年6月1日付で、完全子会社である株式会社田ノ実を吸収合併いたしました。これに伴い、当第1四半期累計期間より連結から非連結へ移行しております。前期実績は、参考数値として連結実績を記載しております。

2. 2023年3月期通期業績予想の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	20,000	850	750	450	24円74銭
今回修正予想 (B)	20,900	1,400	1,350	1,000	54円99銭
増減額 (B-A)	900	550	600	550	-
増減率 (%)	4.5	64.7	80.0	122.2	-
(ご参考) 前期通期実績 (2022年3月期))	19,717	1,327	1,246	697	38円37銭

3. 業績予想修正の理由

仏壇仏具事業とオンラインショップの業績が順調に推移したこと、これに連動して墓石事業や屋内墓苑の成約が伸びたことにより、売上高は前回の発表予想を上回りました。この業績好調の要因は、前期に引き続き継続した地域毎の新聞折込チラシとTVCMに加えてリスティング広告を実施したことです。さらに2021年12月に、ホームページをリニューアルしたことも要因の一つです。これによりお仏壇をお求めになる方が増加し、お仏壇を起点にお墓や屋内墓苑を求められるお客様が増加いたしました。

また墓石事業につきましては前期に建墓権を取得した新規霊園において墓石の販売が順調であることも、売上に好影響を与えております。

売上高の増加に伴い、売上総利益につきましても当初計画を上回っております。

販売費及び一般管理費につきましては、売上高増加により一部変動費が増加したものの当初計画通りに費消することができました。

これらの結果、営業利益及び経常利益並びに四半期純利益・当期純利益は前回予想数値を大きく上回る見通しでございます。

なお、新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあり、一部店舗で販売体制が整わず一時休業を余儀なくされるなど未だ予断を許さない状況であるため、下半期の予想数値は、当初計画の予想数値を据え置いております。今後、政府等により臨時休業要請があった場合には、当社の業績に影響を及ぼす場合があります。

4. 配当予想修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	年間
前回発表予想 (2022年5月16日)	3円00銭	3円00銭	6円00銭
今回修正予想	3円75銭	3円75銭	7円50銭
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	2円50銭	3円00銭	5円50銭

5. 配当予想修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元が経営の重要施策の一つであると認識に立ち、長期にわたる安定した配当を基本とし、内部留保金や業績等も勘案して中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行なうこととしております。

このような方針に基づき、上記の業績予想の修正及び財政状態等を踏まえ検討した結果、2023年3月期の1株当たりの配当予想につきましては、中間・期末配当予想共に1株当たり3円75銭と修正することにいたしました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性がございます。

以上